

あべともこニュース

次世代を優しく守り、平和な世界を。



衆議院議員あべともこ
プロフィール

神奈川県 12 区（藤沢市・寒川町）
当選 8 回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこ子ども
クリニック（湘南台）理事長
現在、厚生労働委員会
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式 X (旧 Twitter)
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ
公式 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索



あべともこ後援会入会及び、
ボランティアスタッフ募集

◆子ども子育て支援法、負担は誰が？
4月2日の本会議から、子ども子育て支援法の審議が始まります。
この数年少子化が社会的、政治的問題になり、つい最近の報告で昨年の出生数75万人と、予測よりも早いスピードで減少している事から、「対策」の加速化が言われています。どうすれば働きながら産み育てやすい社会を作るのか、という根本を考えずに、いろんな対策メニューが並びました。
その為の財源は国負担と社会保障削減と、社会保険負担、特に医療保険から出すというのが政府案です。医療保険の保険料に上乗せし、一人平均毎月350円と600円と最初は試算していますが、これから上がるのは必定。
なぜ医療保険から子ども子育て支援金を出すのか、国民が納得できる説明もなく、しっかりと財源確保する為に、徹底審議が必要です。

会社員などの支援金は？(2028年度)

大企業に勤める人などの健康保険組合	扶養も含め1人平均月500円
中小企業に勤める人などの「協会けんぽ」	扶養も含め1人平均月450円
公務員などの「共済組合」	扶養も含め1人平均月600円

出典：NHK3/29

◆国会見学、子どもたちもともに
28日、国会見学「お花見ツアー」を開催。桜の開花と天候が危ぶまれる中でしたが、満員御礼、参加いただきました皆様の中には、戦没者のご遺族も何人かおられました。
また、今回は小学生を含む子どもたちも5名参加。コロナの影響で国会見学ができなかったのが、今回の機会に急遽一人で参加してくれた子もいました。
「楽しかった」「国会はとても大きい」「立ち寄った千鳥ヶ淵が綺麗だった」という声。さらに、「自分たちが大人になった時に、安心した生活が得られ、仕事もできるのか、日本は今後どうなるのか!？」と鋭い指摘も。
政府は、本格的な子ども子育て支援を言いますが、物価は上昇、賃金なかなが上がない状況…。未来ある子どもたちのために、引き続き、実効性ある政策提言を国に働きかけて参ります。

◆ガザ即時停戦に向けて。
3月27日、「超党派人間の安全保障外交の推進を考える議員有志の勉強会」は、「衛星写真・データで読み解くガザの「現在」」、続いて29日には、急遽来日されていたUNRWAフィリップ・ラザリーニ事務局長をお招きして勉強会を開催しました。
衛生写真で見ると、改めて現地の破壊状況が顕著でした。講師の渡邊英徳先生（東京大学）は、「輸送トラックや病院も想像以上に破壊されている。この現状からも即時停戦すべき」と。
ラザリーニ事務局長からは、UNRWAは、パレスチナにとって国に変わる行政機関で必要不可欠と。今パレスチナで起きていることについて、全世界の人々が共感してほしいとお話されました。
4月2日、日本政府はUNRWAへの拠出再開を決定しましたが、即時停戦が最重要。国会決議上程も見据え、人道に基づく平和外交が求められます。



3/29 ラザリーニ事務局長を囲んで